

(第2学年 技術・家庭科 (技術分野))

教科のねらい

実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりに関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身につけます。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	○教科書：技術・家庭 技術分野(東京書籍)	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・定規・コンパス
学習の進め方	<p><授業> ※前・後期に分けて学習</p> <p>○授業に積極的に参加しよう 自分の生活を振り返り、自分のこととして結びつけましょう。人の意見を聞いたり教え合ったりすることで、新しいアイデアを手に入れ、実習では生活に役立てられるように基礎的な技術を身につけましょう。</p> <p>○必要な知識は覚えてしまう 基礎的なことや用語を覚えていないと、説明されても「わからない!」となってしまいます。基本的なことや用語は早く覚えてしまいましょう。</p> <p>○板書の内容をしっかりと書き留める 定期テストは各学期末です。テスト前に学習プリントを見直したとき、意味がしっかりとわかるように、ていねいに書いておきましょう。</p> <p><家庭学習></p> <p>○実践して生活に生かそう 学んだ知識や技術を自分の生活場面でどんどん活用しましょう。そうすることで、知識や技術の定着が図られます。</p> <p><定期テスト></p> <p>○前期の学級は2学期中間に、後期の学級は学年末に100点満点でテストを行います。</p>		
学習上の注意等	<p>○授業中の指示をしっかりと聞き、話を聞くとときと作業をするときの切り替えをきちんとしましょう。</p> <p>○指示があるまで待ち、勝手に機械や道具を使わないようにしましょう。</p> <p>○扱い方を間違えると危険な機械や道具もあるので、安全に気を付け、いつも真剣に授業に取り組むようにしましょう。</p> <p>○黒板に書いたこと、授業で話される内容や気づいたことを自分なりに工夫し、プリントにまとめましょう。</p> <p>○友だちと助け合い、教えあい、学び合いましょう。</p>		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				
学 期	期 月	単 元 計 画	試 験	
1	前期	※1・2組は技術を学習します。 (3・4組は家庭を学習します)		
		4	○材料の特徴 ・材料の特徴を調べ、まとめる	
		5	○製品の設計 ・製図	
		6	・制作品の構想	
		7	○部品加工 ・製作の準備 ・けがき、切断	
		2	9	・切削、穴あけ ・ねじ切り
			10	○組立てと仕上げ ○制作品の評価
			まとめ	
			※3・4組は技術を学習します。 (1・2組は家庭を学習します)	
		3	後期	11
12	○製品の設計 ・製図 ・制作品の構想			
1	○部品加工 ・製作の準備 ・けがき、切断 ・切削、穴あけ ・ねじ切り			
2	○組立てと仕上げ			
3	○制作品の評価			
まとめ				

評価にあたって	
評価観点	評価の場面・方法
<生活や技術への関心・意欲・態度> ・ものづくりに関する技術について感心をもち、生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとしている。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・忘れ物
<生活を工夫し創造する能力> ・生活と技術とのかかわりについて見直し、課題を見つけ、その解決のために技術を適切に活用して、工夫し創造することができる。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・作品のでき
<生活の技能> ・ものづくりに必要な基礎的な技術を身につけ、その技術を安全で適切に活用することができる。	・学習プリントの記入内容 ・活動状況の様子 ・定期テスト ・作品のでき
<生活や技術についての知識・理解> ・生活や産業の中での技術の役割について理解しものづくりに必要な基礎的な知識を身につける。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・定期テスト